

## 公益社団法人日本包装技術協会 2020年度活動方針

2019年も、世界では自然災害の激甚化や地域紛争の混迷化など、変化・混乱が押し寄せた年であった。日本においても同様に、少し回復の兆しが見え始めるとまた新たな問題が生じるなど不安定な状態が続き、経済面でも内需・外需ともに大きな伸張が見えなかった年であったといえる。我が国の2020年は、消費増税の影響からの脱却、10月の5G実用化の開始、そして、7月には東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎えるなど、光明と好景気の訪れを期待したが、ここにきて、新型コロナウイルスによる感染拡大とその影響による社会状況及び経済への大きなダメージを与えかねない事態に見舞われている。世界においても同様に新型コロナウイルス感染問題、9月香港立法会選挙、10月UAEで中東初の万博開催、12月末ブレグジット移行期限、11月にはアメリカ大統領選挙が予定されており、2020年もまた様々な変化・変革が起こる先行きが不透明な年となりそうである。

一方、我が国の包装産業も、SDGs、海洋プラスチック問題、改正食品衛生法の施行、食材ロス、レジ袋の有料化など、今まで以上に社会の変化とニーズに調和した包装の実現、持続可能な社会形成への貢献が大きな命題となっている。このような動向に対する認識を深め、構築してきた知識・情報力・技術力を生かしながら、多種多様な社会のニーズや変化に対応すべく、より高度に進化した包装技術、素材、システムなどの開発に積極的に取り組み、ソリューションを構築しなければならない。

当会はこうした状況を鑑み、会員各位の協力を得て、基本事業である包装適正化の推進や次世代を担う包装人材育成等の事業をさらに充実させ、より高度で進化した包装への取り組みを支援し、社会への発信など公益事業を推進強化するなど叡智と努力を傾注し、活力ある包装産業の実現と豊かな社会の構築を目指す。特に、本年度開催する2021東京国際包装展は、世界を代表する国際総合包装展にふさわしい内容と運営を図り、画期的なイノベーション創出の場となることを目指し実施する。

以上のような内容を踏まえ、協会は次の事項を重点とした諸活動を展開する。

### 1. SDGsへの対応、持続可能な社会実現への取り組み

国連が世界の共通目標として「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択し、日本でも2030年までの達成を目標にすでにさまざまな取り組みが行われている。特に産業、食糧問題、環境関連の課題における包装の果たすべき役割は大きく、さらなる技術向上とイノベーションが求められている。包装が取り組むべき課題を十分に認識・周知し、包装分野だけでなく他業種との横断的な協業・開発を促進できるよう情報・課題の共有を図るプラットフォームとしての活動を展開する。

### 2. 包装の更なるグローバル展開への取り組み

日本の包装産業がより世界市場へ展開するためには、各地域の文化やニーズを把握しそれに適応した包装の開発や生産に寄与することが求められる。日本の包装技術の優位性を更に高めると共に、世界の最新情報を集約し、積極的に日本の包装技術の紹介や活用などを行う。また、APF(Asian Packaging Federation)や、WPO(World Packaging Organisation)のメンバーとして各国包装協会と連携して活動し各国の包装産業とも一層の協力を深め、ISO/TC122の国際幹事国として、国際的な標準化やルール作りに向けた取り組みを一層強化し、日本の標準化への意見を世界に反映する活動を推進する。

### 3. 包装の重要性の周知と新しい包装への取組み

持続可能な社会の実現という目標において包装自体が大きな課題となっているが、一方、近年の自然災害や疫病や食糧問題においても必要なモノを長期に保護し安全に届けることが求められ、また消費者へ内容物の情報や廃棄方法の伝達なども求められるなど、近年、包装の果たす役割、重要性が一層増しており、その必要性の認知を向上するため、あらためて社会へ向けての発信力を強化する。また、社会の潮流にも適応する新しい包装技術や素材の開発促進に向けた活動を推進する。

### 4. 包装人材育成のさらなる進化への取組み

世界的な社会や経済の変化に伴い、包装はますます多様化・高度化し、課題解決に向けた期待・要求も大きなものとなっており、このような変化や課題に対応できる包装人材の育成が急務となっている。当会事業の柱の一つである包装管理士講座、包装専士講座をはじめとする包装教育事業の一層の質的向上と内容の拡充に努め、新たな包装の開発やイノベーションに寄与でき、課題解決能力を有する人材の育成を図る。また、本事業は全国にある支部との連携のもとに、地域に密着したセミナー、研究会などの事業活動を通して、包装産業の活性化と技術力の向上に貢献する。

### 5. 2021 東京国際包装展(TOKYO PACK 2021)の成功と活力ある包装産業の創出

今回で28回目となる2021東京国際包装展(TOKYO PACK 2021)は、東京オリンピック・パラリンピック会期日程の影響により、従来の10月を2021年2月へ変更しての開催となる。“未来(あす)を拓く 包みのテクノロジー”をテーマに掲げ、今回もまた未来へと導く最先端、次世代の包装が集約する世界有数の国際総合包装展にふさわしい内容と運営を図り、包装産業の活力ある発展と社会生活の向上、更なるイノベーションを促進できる機会の拡充に努める。

# 2020 年度 事業 計 画

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

## 第 1 . 事 業

### 1 . 研修、育成、交流事業、普及啓発（公益目的事業 1）

#### < 研修、育成事業 >

各種の包装人材育成事業の中で、本年度は包装管理士講座が 55 回目の開催を迎え、本年度は東京、名古屋、大阪、福岡、仙台、札幌の 6 会場にて実施する。

包装分野においてトップレベルの内容で実施されている包装専士講座は、昨年度包装アカデミーより名称を改め、引き続き輸送包装コース、食品包装コース、包装材料コース及び医薬品包装コースの 4 つのコースに各々 15 名程度の少人数の受講生で実施する。

包装に携わる人々に求められる知識や技術の提供と、内外の最新情報提供を目的として実施されているセミナーやコースは、時代に適合した内容が多く、昨今の環境問題を背景とした持続可能な社会構築を目指した包装及び関連技術の開発・改善事例等や、一般消費者にとっての商品の安全・安心、そして利便性等を目指した包装開発等が主とした内容になっている。これらの事業は各々の支部で開催されており、本年度も、引き続き各々の地域に見合った内容の提供を行ってゆく。

なお、すべての内容は当会のホームページで一般公開されており、包装に関心を持つ人々の参加が可能である。

1) 第 5 5 期包装管理士講座 本部・支部 6 月開講～9 月終講（うち 12 日間）

開催地：合 宿 ロワジールホテル豊橋

会場別座学 東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌（6 会場）

定 員：470 名

東 京会場	235 名	大 阪会場	95 名
名 古 屋 会 場	70 名	福 岡 会 場	35 名
仙 台 会 場	20 名	札 幌 会 場	15 名

2) 2020 年度包装専士講座（包装アカデミー） 東京本部

(1) 第 3 4 期輸送包装コース	6 月開講～3 月終講
(2) 第 3 5 期食品包装コース	6 月開講～3 月終講
(3) 第 3 4 期包装材料コース	6 月開講～3 月終講
(4) 第 3 3 期医薬品包装コース	6 月開講～3 月終講

## 3) 研究大会

- (1) 第58回全日本包装技術研究大会 札幌大会 11月 ニューオータニイン札幌

## 4) 研究会 (講習会)

## 東京本部

- (1) 包装資材部会 4月・9月・11月・2月 (2回) JPI 会議室  
 (2) 生活者包装部会 4月・6月・7月・1月・3月 JPI 会議室  
 (3) 包装情報部会 5月・6月・10月・12月・3月 JPI 会議室  
 (4) 包装ラインシステム化部会 7月・8月・9月・11月・3月 JPI 会議室  
 (5) 輸送包装部会 5月・8月・10月・12月・1月 JPI 会議室  
 (6) 新潟県包装研究会 10月 新潟市  
 (7) 静岡県包装研究会 11月 静岡市  
 (8) 包装情報ステーション (年2回予定) JPI 会議室

## 関西支部

- (1) 会員フォーラム 4月・6月・7月・8月・10月 (2回)  
 12月・2月

## 中部支部

- (1) 包装資材研究例会 6月 ウィンク愛知  
 (2) 輸送包装研究例会 7月 ウィンク愛知  
 (3) 生活者包装研究例会 9月 ウィンク愛知  
 (4) 包装技術研究例会 10月 ウィンク愛知  
 (5) 包装技術講習会 11月 ウィンク愛知  
 (6) 包装研究懇話会 3月予定

## 西日本支部

- (1) 輸送包装研究会・生活者包装研究会 5月・10月 西鉄イン福岡

## 北海道支部

- (1) 包装懇話会 11月  
 (2) 新春包装研究会 1月  
 (3) 包装基礎セミナー 2月

## 東北支部

- (1) 包装研究講演会 (東北生産性本部・東北IE協会共催) 10月

## 5) 研修コース

## 東京本部

- (1) 第26回包装新人研修コース 4月 JPI 会議室  
 (2) 第53回包装基礎コース 5月 JPI 会議室  
 (3) 第37回フレキシブルパッケージコース 11月 JPI 会議室  
 (4) 第16回緩衝包装設計コース 1月 JPI 会議室

- |                                |              |               |
|--------------------------------|--------------|---------------|
| (5) 第46回段ボール包装設計コース            | 10月          | JPI 会議室       |
| (6) 第11回食品包装コース                | 11月～3月       | JPI 会議室       |
| 関西支部                           |              |               |
| (1) 第27回包装基礎コース                | 5月           |               |
| (2) 第14回緩衝包装設計実践コース            | 10月          |               |
| (3) 第47回段ボール包装設計実習コース          | 1月           |               |
| 中部支部                           |              |               |
| (1) 第30回包装設計の基礎講座              | 5月           | 愛知県技術開発交流センター |
| 6) セミナー、シンポジウム                 |              |               |
| 東京本部                           |              |               |
| (1) 化粧品包装セミナー                  | 7月・11月       |               |
| (2) パッケージイノベーションセミナー           | 10月          | 東京都内          |
| (3) 包装材料セミナー                   | 1月           | 東京都内          |
| (4) 医薬品包装セミナー                  | 3月           | 東京都内          |
| (5) 包装近未来シンポジウム                | 3月           | 東京都内          |
| 7) 講演会・発表会                     |              |               |
| 東京本部                           |              |               |
| (1) 2020 パッケージングフォーラム          | 8月           | 東京ガーデンパレス     |
| 中部支部                           |              |               |
| (1) 2020 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会 | 12月          | ウイック愛知        |
| (2) 第60回包装技術研究大会中部大会           | 2月           | ウイック愛知        |
| 西日本支部                          |              |               |
| (1) 包装事例研究発表会                  | 11月          | 西鉄イン福岡        |
| (2) 2020 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会 | 12月          |               |
| 北海道支部                          |              |               |
| (1) 第55期包装管理士講座レポート発表会         | 11月          |               |
| 東北支部                           |              |               |
| (1) 東北支部包装技術研究発表大会             | 11月          |               |
| 8) 包装懇話会                       |              |               |
| 東京本部                           |              |               |
| (1) 食品・流通包装懇話会                 | 6月・9月・11月・1月 |               |
| (2) 医薬品包装懇話会                   | 5月・9月・11月・2月 |               |
| (3) パッケージデザイン懇話会               | 5月・8月・11月・2月 |               |
| (4) 輸送包装懇話会                    | 7月・9月・11月・1月 |               |

関西支部

(1) 生活者包装研究懇談会 6月・9月・12月・2月

## <交流事業>

### 1) 国内事業

#### (1) 見学会

東京本部 6月・10月・3月

関西支部 11月・3月

中部支部 (年1回予定)

西日本支部 (年3回予定)

北海道支部 10月

東北支部 9月

### 2) 海外交流事業 (公益目的事業 1) 東京本部

#### (1) インターパック包装専門視察団の派遣

インターパック展示会及び現地企業の視察を目的とした視察団を欧州へ派遣  
ドイツ・デュッセルドルフ 5月

#### (2) パックエキスポ・シカゴ包装専門視察団の派遣

パックエキスポ・シカゴ展示会及び現地企業・団体の視察を目的とした視察団  
を米国へ派遣  
米国・シカゴ 11月

#### (3) アジア包装連盟 (A P F) との連携

① A P F 戦略会議 中国 4月

② 理事会、総会、アジア包装会議、アジアスター2020 コンテスト、他  
フィリピン・マニラ 10月

#### (4) 世界包装機構 (W P O) との連携

① 理事会、ワールドスター2020 表彰式、世界包装会議、他  
ドイツ・デュッセルドルフ 5月

② 理事会、ワールドスター2021 コンテスト、世界包装会議、他  
南アフリカ・ブッシュ 11月

#### (5) 国際包装研究機関連絡会 (I A P R I) との連携

I A P R I 世界包装会議 メキシコ・モンデレイ 6月

#### (6) 海外からの来日包装関係者の受入れ

#### (7) 海外への講師及び包装専門家の派遣

## <普及啓発事業> 東京本部

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所、主婦連合会等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページ

からの募集を行っており参加が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々で構成された審査員によって選ばれる入賞製品をグッドパッケージとして（最高賞は経済産業大臣賞）「東京国際包装展（東京パック）2021」の会場において一般公開する。本年度もこれまでと同様の内容で開催し、選ばれたパッケージはすべて選定理由と写真付きで広報される他、英文で全世界に広報する。

木下賞は、授与された包装製品がその年の最高技術水準にあることもあり、最近では、これらの包装には生活の向上という意味から消費者が大変関心を示している。本年度も審査員は官学からの有識者で構成され、応募はホームページを通して一般にも公開されるので誰でも無料で応募できるが、審査基準は大変高くまた厳しいものとなっている。

- |                         |         |             |
|-------------------------|---------|-------------|
| 1) 第44回木下賞              | 審査選考：4月 | 表彰式：6月（総会時） |
| 2) 2020日本パッケージングコンテスト審査 |         | 6月          |
| 3) 2020グッドパッケージング展      |         | 2月          |

## 2. 展示会事業（公益目的事業 2） 東京本部

本年開催の東京オリンピック・パラリンピックの影響により、従来であれば本年秋に開催される東京パックは2021年2月24日から26日の3日間、東京ビッグサイトにおいて、会期を4日間から1日短縮しての開催となる。

本展は包装資材・容器、包装機械、印刷・包材加工機械、食品・医薬品・クリーン関連機材、検査・計測・環境関連機材、包装デザイン&サービス、次世代テクノロジー、包装・物流ソリューション等の展示を目的とした国際総合包装展で、今回は「未来を拓く包みのテクノロジー」のテーマのもとで開催する。

世界でも最先端をゆく我が国包装技術の発信、環境やこれからの高齢化社会に対応した日本独特の包装技術の展示等は国内のみならず海外の包装関係者からも大きな関心が寄せられている。特に近年、アジア各国を中心とした海外からの来場者が増加傾向にあり、各種イベントを併催行事として企画し、出展社・来場者相互の交流を図っていく。

### 1) TOKYO PACK 2021（2021東京国際包装展）開催の準備

2021年2月24日（水）～26日（金） 3日間

東京ビッグサイト 東展示棟（東1ホール～東6ホール）

### 2) アジア・ヨーロッパ主要各国の国際包装展への東京パックPRブース参加

(1) コリアパック 2020 JPI ブース出展（新型コロナウイルス問題により延期）

4月14日（火）～17日（金）

Kintex-Korea International Exhibition Center

(2) インターパック 2020 JPI ブース出展

5月7日（木）～13日（水）

デュッセルドルフ見本市会場

## (3) 台北パック 2020 JPI ブース出展

6月17日(水)～20日(土)

Taipei World Trade Center / Taipei Nangang Exhibition Center (台北市)

## (4) プロパック・ミャンマー JPI ブース出展 (未定)

9月17日(木)～19日(土)

ミャンマーエキスポ(ヤンゴン)

**3. 調査研究事業 (公益目的事業 3) 東京本部**

現在、日本は、ISO/TC122(包装)の議長及び、国際幹事国を引受けており、当会は、包装分野の国内審議団体の他に、国際事務局としてISO規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与する。本年度のISOの日本提案は、「省エネルギー等国際標準開発」の新規開発ISO/TR1860X「ISO18600シリーズに基づく環境配慮設計ガイド(仮称)」及び、改正ISO21898「非危険物用フレキシブルコンテナ」の開発を開始する。これらを国際幹事国として支援を行う。一方、「包装のアクセシブルデザイン」は、ISO22015「取扱いと操作」のJIS規格の制定及びJIS新規テーマ2件の規格化の活動を実施する。

包装は国民の日常生活に深く関わっており、絶えず、その標準化を見直し、生活し易い環境を整えることが求められていることから、本年度もJIS規格の見直し作業も精力的に進める。

日本の包装産業出荷統計に関する調査研究は、昭和38年の創立以来欠かさずことなく継続しており、本年度も2019年の統計を刊行する。これは、当会ホームページで紹介される他、英文で世界各国に公表される。

## 1) ISO/TC122(包装)の議長・国際幹事国(事務局)としての活動

- ・第23回TC122総会(11月開催予定、フィリピン、マニラ)
- ・各規格委員会の国際会議

## 2) ISO/TC122(包装)の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

## (1) 包装全般、危険物輸送容器包装等の定期見直し規格に関する調査研究

## (2) 「省エネルギー等国際標準開発」に対する調査研究

- ・ISO/TR1860X:「ISO18600シリーズに基づく環境配慮設計ガイド(仮称)」の国際標準の開発(新規提案)
- ・ISO21898:「非危険物用フレキシブルコンテナ」の国際標準の開発(新規提案)
- ・ISO/TR18568:「材質識別表示」の国際標準の開発(海外新規提案)
- ・ISO21067-1:「包装用語-第1部一般用語」の国際標準の開発(海外改正提案)
- ・ISO23416:「温度制御が必要な医薬品包装」の国際標準の開発(海外新規提案)
- ・ISO23417:「非滅菌医療機器包装適正物流」の国際標準の開発(海外新規提案)
- ・ISO22982-1:「輸送包装-小包輸送のための温度制御輸送包装-Part1:一般的  
要求事項」の国際標準の開発(継続)



- ・ IS022982-2 : 「輸送包装－小包輸送のための温度制御輸送包装－Part2 : 試験の一般仕様」の国際標準の開発（継続）

(3) 「包装のアクセシブルデザイン」に関する国際規格化の推進

- ・ 新規テーマに向けての調査・準備

3) J I S 制定・改正に関する調査研究

(1) 包装の環境適正化に関する J I S の原案の継続事業の実施

- ・ JIS Z 0230 「包装貨物－性能試験方法」の改正
- ・ JIS Z 0232 「包装貨物－振動試験方法」の改正
- ・ JIS Z 0238 「防湿材料カップ法」の改正
- ・ JIS S 0021-3 「アクセシブルデザイン 包装－情報と表示－」の制定
- ・ JIS S 0021-1 「アクセシブルデザイン 包装－一般的要求事項－」の改正
- ・ JIS S 0021-4 「アクセシブルデザイン 包装－取扱いと操作－」の制定
- ・ 「アクセシブルデザイン 集合包装用段ボール箱の個数・重量の情報と表示（仮称）」の制定
- ・ 「アクセシブルデザイン 詰替え容器の操作性に関するアクセシブルデザイン（仮称）」の制定

(2) 5年経過した J I S の定期見直し

上記調査研究は、政府関連機関からの委託事業であり、来年度は、今後検討を行う。

4) 2019年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

5) 包装教育に関する研究・調査

**4. 出版関連事業（収益事業） 東京本部**

月刊誌「包装技術」は、包装専門家で構成された編集委員会によって企画が行われており、創立以来、欠号なく刊行されている。本年度も引続き一層の内容の充実を図りながら月刊誌として毎月刊行する。本誌は、包装技術及び関連情報が中心となっているが、当会事業の案内や調査研究の成果、さらに新会員の紹介等幅広い内容を掲載し公開している。本事業は収益事業として、一般による購読収入と広告収入によって進められている。本年度も引続き編集委員会主導のもとで編集に当たる。

なお、各地の図書館をはじめ関心を持つ公的機関には、この機関誌を寄贈している。

また、包装技術便覧を1995年以来の全面改訂版(第5版)として2019年2月に発刊したことを受け、今後も包装産業界の人材教育、研究開発の一助として広報並びに販売を行っていく。

1) 機関誌「包装技術」の刊行

月 刊

- 2) 包装技術便覧（2019年2月発刊）の販売
- 3) 「Q & A 容器包装規制基準の手引き」誌の編纂
- 4) 「包装用語集(仮称)」単行本の発刊準備（2022年2月発刊予定）

## 第2. 諸 会 議

- |             |                          |                   |
|-------------|--------------------------|-------------------|
| 1) 理事会      | 5月26日(火)、6月16日(火)、3月     | 如水会館              |
| 2) 常務理事会    | 3回開催                     | JPI 会議室・如水会館      |
| 3) 全国支部連絡会  | 5月・11月                   | JPI 会議室・ニューオータニ札幌 |
| 4) 本部・支部諸会議 | 本支部単位で運営委員会・講習会委員会等を逐次開催 |                   |

## 第3. 行事・その他の活動

### 1) 行事

- |             |          |      |
|-------------|----------|------|
| (1) 第9回定時総会 | 6月16日(火) | 如水会館 |
|-------------|----------|------|

### (2) 新年会

- |       |                    |          |             |
|-------|--------------------|----------|-------------|
| 東京本部  | 2021年包装界合同新年会      | 1月6日(水)  | 椿山荘         |
| 関西支部  | 2021年新春会員交流会/講演会   | 1月15日(金) | 大阪倶楽部       |
| 中部支部  | 2021年新年賀詞交歓会       | 1月       | ホテルキャッスルプラザ |
| 北海道支部 | 2021年新春賀詞交歓会/新春研究会 | 1月       |             |
| 東北支部  | 2021年新年名刺交換会/講演会   | 1月       |             |

### 2) 会員交流会・特別講演会

- |       |    |       |    |
|-------|----|-------|----|
| 中部支部  | 6月 | 西日本支部 | 8月 |
| 北海道支部 | 6月 | 東北支部  | 6月 |

### 3) その他の活動

- (1) Web サイトによる最新情報の提供 ホームページ 定期更新 12回、逐次情報発信
- (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 J P I メールマガジン 12回
- (3) J P I 関連団体との連絡提携  
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、  
技術士包装物流会、日本包装学会、日本 MH 協会 他
- (4) 行政機関要請への協力と連携、研究機関、消費者団体、市民団体等との連携  
経済産業省、厚生労働省、農林水産省、中小企業庁、消費者庁、東京都、  
横浜市、(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、  
あいち産業科学技術総合センター 他